

保証書

型式	補助エアータンク SAT-250/390IR SAT-250/390AL	お買上げ日 年 月 日	保証期間 1年 (業務使用時は6ヶ月)
お客様	ご住所：〒 お名前： 電 話： . .		
販売店	ご住所：〒 お名前： 電 話： . .		印

太線枠内に記入がない場合、またはそれに代わる資料の添付がない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼ください。

保証期間中でも下記の場合には有料修理となります。

- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・お買上げ後の落下、運送等による事故及び損傷。
- ・火災・地震・落雷・その他天災地変・公害・煤煙・薬品・鳥ふん・塩害・異常電圧などによる故障及び損傷。
- ・車両・船舶などに搭載された場合の故障及び損傷。
- ・消耗部品・磨耗部品の交換、修理。
- ・保証書のご提示がない場合。
- ・保証書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がないか、それに代わる資料の提示がない場合、または、字句を書き換えられた場合。
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。

THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.

本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

総発売元

 藤原産業株式会社

情報サービスセンター

〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

TEL 0794-86-8200(代表) FAX 0794-83-5160

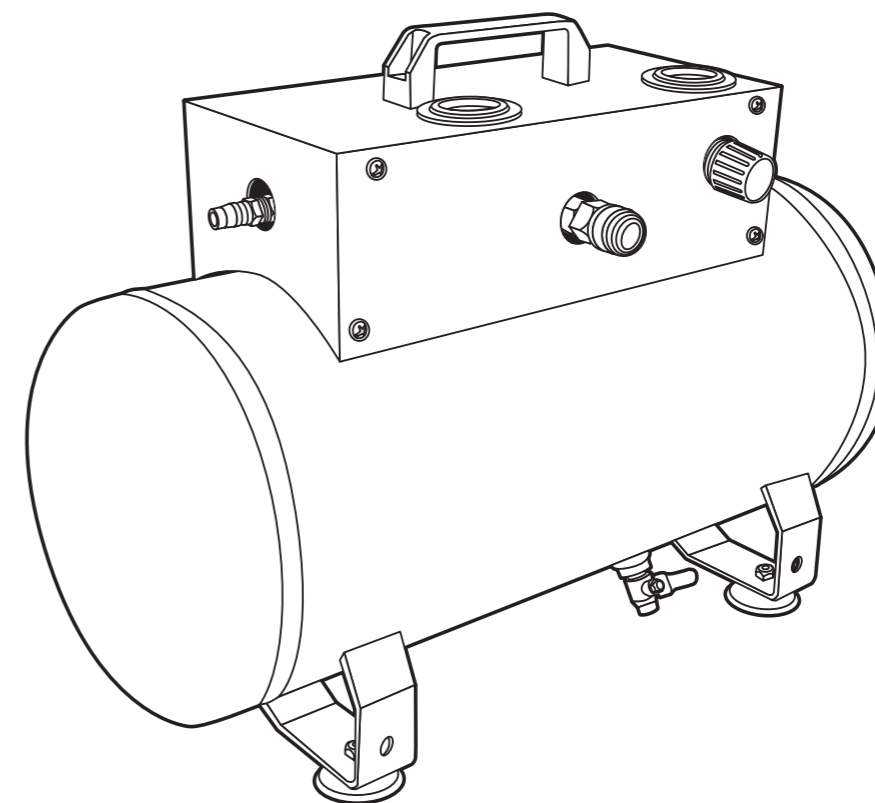


取扱説明書

補助エアータンク

SAT-250IR SAT-250AL(アルミ製)

SAT-390IR SAT-390AL(アルミ製)



■この度は、**SK11** 商品をお買上げいただき、ありがとうございます。

■ご使用前に**必ず本書をお読み**いただき、正しい使用方法を理解してください。
誤った使用方法は、事故や故障の原因となります。

■取扱説明書は大切に保存し、必要な時にお読みください。

目次

1.製品仕様	-----	1
2.安全上のご注意	-----	2
3.各部のなまえ	-----	3
4.ご使用方法	-----	4~6

1.製品仕様

(注:0.1MPa ≒ 1気圧≒1kgf/cm²)

品番	AST-250IR	AST-250AL	AST-390IR	AST-390AL
最高圧力	1.0MPa			
タンク容量	25L		39L	
空気注入口	1/4"ワンタッチソケット			
空気取出口	【A】タンク直結：1/4"ワンタッチソケット			
	【B】圧力調整後：1/4"ワンタッチソケット			
本体質量	約10.0kg	約5.3kg	約13.5kg	約7.6kg
本体寸法(L×W×H)	約590×240×400mm		約645×285×465mm	
生産国	MADE IN CHINA			

2.安全上のご注意

■この取扱説明書及び本体に貼り付けたラベルには、安全に関する重要な注意事項を、**⚠警告**、**⚠注意**のマークを使用して表現しています。製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠警告と**⚠注意**の意味は次の通りです。

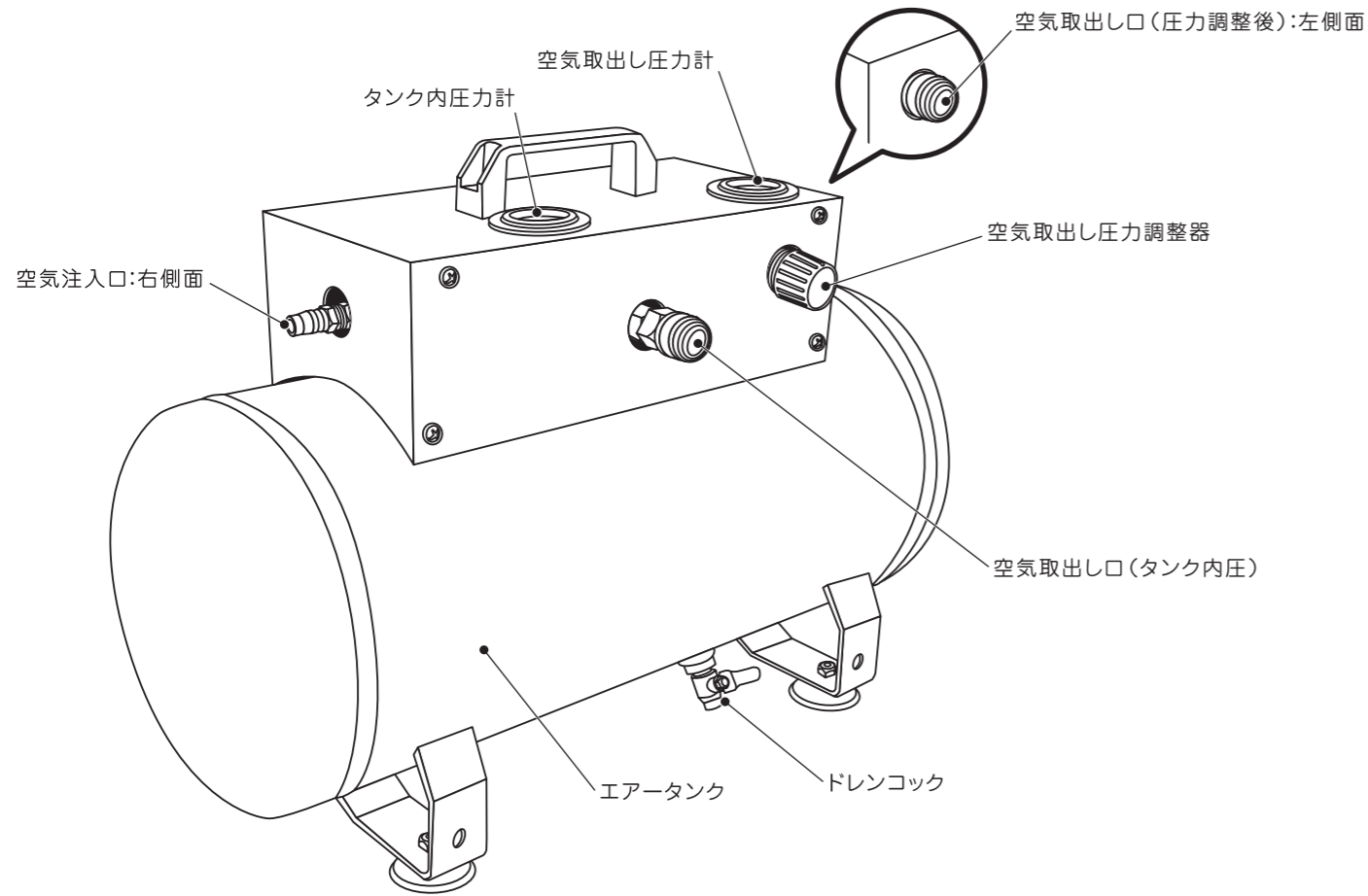
⚠警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷などの重大な結果または傷害に結び付く可能性があります。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、製品の故障や家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があります。

補助エアータンクのご使用上の注意

⚠警告

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- 本製品の圧縮空気は人体や動物の送気用には絶対にご使用にならないでください。
- 使用中の作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様にはご注意ください。
- 分解や改造は絶対にしないでください。
- 雨中や水のかかる場所または湿気の多いところでは絶対にご使用にならないでください。
- 炎天下など高温になる場所でご使用にならないでください。
- 作業環境に応じた服装で作業してください。(安全メガネ・耳栓・安全靴・作業着・ヘルメット・安全靴など)
- 使用前に本製品及び使用機器の点検を行ってください。万が一、異常がある場合は絶対にご使用にならないでください。
- ボルトやナットが緩んでいたり、亀裂や破損がみられた場合は絶対に使用しないでください。
- 固く水平な場所に設置してください。
- ごみやほこりの多いところに設置して使用しないでください。
- 衝撃や人為的な曲げを与えないでください。
- ぶついたり落下させるなど乱暴に取り扱わないでください。
- 上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
- 運転中に異常を感じたら中断し使用しないでください。
- タンクに空気を充填する時は最大圧力が1.0MPa以下の能力のコンプレッサーから充填してください。1.0MPa以上に充填するとタンクが破裂する恐れがあります。1.0MPa以上のコンプレッサーの場合は、コンプレッサー出口のエアータンク圧力を1.0MPa以下に調整してください。
- 使用後はドレンコックを開けてタンク内の空気を全部排出して水抜きを行ってください。タンク内に水が溜まるとタンクの容量が減少します。
- エアータンクの圧縮空気にはオイルや小さなゴミなどの不純物が混じっていますので、人の呼吸用やペット水槽の送気用など人体や動物用には使用しないでください。
- 圧縮空気は人の身体や動物に向かって吹かないでください。圧縮空気には水分、油、ゴミなどが混じっていますので有害です。

3. 各部のなまえ



4. ご使用方法

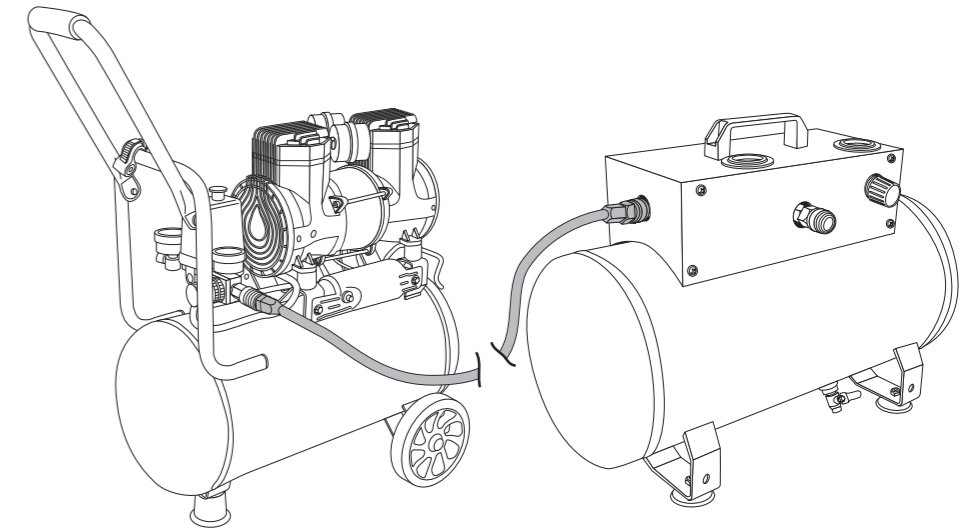
1. エアータンクの接続

(1) 設置場所の選定

- ・エアータンクは、水平で平らな堅い床面で、換気が良く湿気やほこりの少ない所に設置してください。
- ・エアータンクは、できるだけ使用するエアーツールに近い位置に設置してください。

(2) エアータンクの接続(エアークンプレッサとエアータンク)

- ・エアークンプレッサの空気取出し口と、このエアータンクの空気注入口(ワンタッチソケット接続用エアープラグ)をお手持ちのエアータンクで接続してください。
- ・空気取出し口(圧力調整後)または(タンク内圧)にお手持ちのエアータンクを接続してください。
- ・空気取出し口(タンク内圧)に接続している場合は、エアークンプレッサ本体の空気取出し圧力調整器で、使用するエアーツールの指定圧力に調整してください。



⚠ 警告

- エアークンプレッサ本体に圧力調整器が無い場合は、空気取出し口A(タンク内圧)にはエアーツールのホースを接続しないでください。エアーツールの最高耐圧以上の圧力になる恐れがあります。
- エアータンクは、耐熱温度70℃以上、使用空気圧1.0MPa以上のものを使用してください。低い規格のものは破裂の恐れがあるので使用しないでください。
- コンプレッサは最大圧力が1.0MPa以下の能力のものか、または、吐出圧力を1.0MPa以下に調整してご使用ください。
- タンク内圧が1.0MPa以上になりますと、安全弁が作動してタンク内のエアが解放されます。

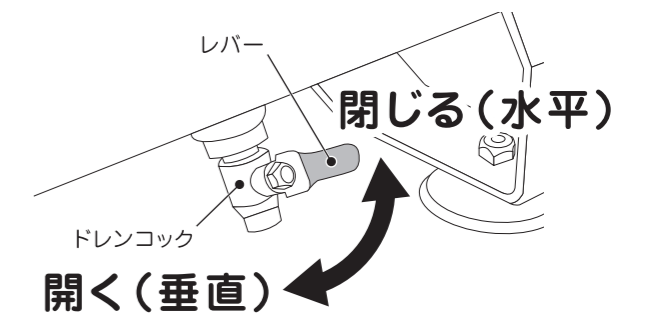
2. 運転前の日常点検・確認

⚠ 警告

- 点検・整備の際は、必ずエアータンク内の圧力を開放してください。作動したり、接続したホースやエアーツールが吹き飛ばされたりする恐れがあります。

■ ドレンコック

本体前面側のタンク底にドレンコックがあります。レバーが垂直の時は開き、水平で閉じます。作業終了時には、ドレンコックを開いてタンク内のエアや水を排出してください。



3. 使用

- (1) ドレンコックを開けてください。
- (2) エアーコンプレッサーを作動させて、エアータンクにエアーを充填します。

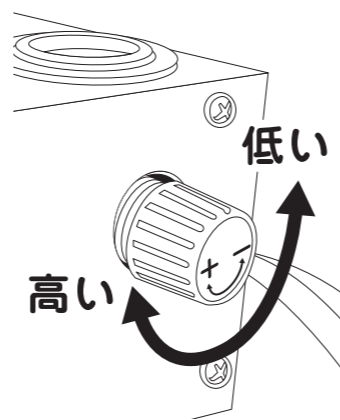
⚠ 警告

■ 空気取出口（タンク内圧）に接続している場合は、エアーコンプレッサー本体取出口圧力調整器で、使用するエアー工具の指定圧力に調整してください。

- (3) 空気取出口（圧力調整後）を使用する場合は、エアーコンプレッサの空気取出口圧力を1.0MPa以下の範囲内でできるだけ高い圧力に調整してください。
タンク内にエアーが充填されてエアーコンプレッサが停止したら、取出口圧力の調整を行ってください。

（取出口圧力の調整方法）

- ・取出口圧力調整器のつまみを「-」方向（反時計回り）に回すと取出口圧力が低くなり、「+」方向（時計回り）に回すと取出口圧力が高くなります。（タンク内圧力より高くはなりません。）
- ・取出口圧力計を見ながら、使用するエアー工具に適した圧力に調整してください。
- ・次の表を目安に、エアー工具に合わせて調節してください。
なお、この表は目安ですので、実際には使用するエアー工具の指定圧力に合わせてください。圧力の調節がおわりましたら、エアー工具を接続してください。



用途・エアー工具	調整圧力 (MPa)
コーキングガン、ゴムボートなどの空気入れ	0.1
エアーブラシ、自動車タイヤの空気入れ	0.2
塗料スプレー、薬剤スプレー、自動車タイヤの空気入れ	0.3
エアーダスター、エンジンクリーナー、エアータッカー、釘打ち機	0.4
自転車タイヤの空気入れ、エンジンクリーナー、エアータッカー、釘打ち機	0.5
フィルターなどの掃除、エアータッカー、釘打ち機	0.6

- (4) コンプレッサーが連続運転しているのにタンク内圧力がエアー工具に適した圧力以下に下がってしまう場合は、エアー消費量がコンプレッサーの空気吐出能力以上になっていますので、エアー工具を能力の低いものに交換するか、使用する時間を短くして断続使用してください。
- (5) エアータンクを離れた作業場へ携帯する場合は、空気注入口のエアーホースの接続を切り離してください。

⚠ 警告

■ エアーホースの接続を解除する場合は、ホース内圧の反動でホースが飛び跳ねることがあります。ホースをしっかりと保持してからクイックコネクターの接続を解除してください。または、空気取出口の圧力を下げてからエアーホースの接続を解除すると、反動が少なくなります。

4. 停止

- (1) エアーコンプレッサーの運転を停止します。
- (2) エアーコンプレッサーとこのエアータンクを接続しているエアーホースの接続を、全て解除します。

⚠ 警告

■ エアーホースの接続を解除する場合は、ホース内圧の反動でホースが飛び跳ねることがあります。ホースをしっかりと保持してからクイックコネクターの接続を解除してください。または、空気取出口の圧力を下げてからエアーホースの接続を解除すると、反動が少なくなります。

- (3) ドレンコックを開いて水抜きと共にエアータンク圧力を開放します。

⚠ 注意

■ エアータンク内に溜まった凝縮水は**その日のうちに**抜いてください。水抜きを怠りますと、タンク内に蓄積されてタンクの容量が減少します。

⚠ 注意

■ 本製品は保存用タンクではありませんので、長時間圧縮空気を保存することはできません。

5. 長期保管

- (1) 長期間使用しない場合は、ドレンコックを開いて水抜きを行ないます。
- (2) ドレンコックを閉じて、エアータンクの外部をオイルのしみた布で清掃します。
- (3) ビニールカバーなどのホコリ除けを被せて、ホコリや湿気の少ない所に保管します。